

＜広瀬川通信 3月号＞

三寒四温、確実に春が近づいてきました。如何お過ごしでしょうか？

忌まわしい東日本大震災の3月11日がやってきます。あの時、雪が舞う漆黒の間の中、沿岸部では凄惨な事態が起きました。家を流され、極寒に耐える人々、流された車の中で助けを待つ人々。そして助けを求めながら夜明けとともに亡くなった大勢の人々。見境もなく人々の生命を奪った自然の脅威と残酷さ。そして、人間の無力さをいやというほど思い知らされました。



(広瀬橋上流の白鳥)

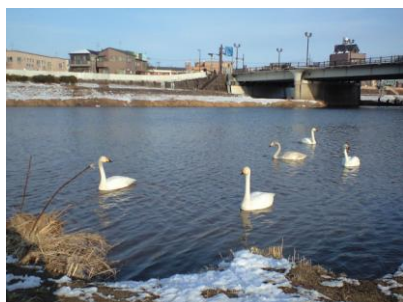
あの停電復帰後、民法テレビではコマーシャルを止め「公共広告機構」の「心は誰にでも見ないけれど心遣いは見える。思いは見えないが思いやりは誰にでも見える。」と宮沢章二氏の誌が繰り返し流されました。

それは、東北の多くの犠牲者と甚大な被害に対し、震災の痛みを共有し、思いやりと助け合いの心を喚起しました。中には「震災関連はもういいんじゃない。」という人もいました。

しかし、地域、世界中のネットワークの「絆」によって助け合いの輪が広がり、命を救われ、地域の復興に確実に役立ったことは事実です。

一方、石巻市で被災したある住職は、巷にあふれる「絆」に辟易していました。被災地で深刻な苦悩を抱く者に「絆」は虚しい。人の苦しさは千差万別であり、寄り添ってのみ知る「絆」には、あまりにも大きな齟齬があると、しみじみ語っていました。

本当に「思いやり」は伝わったであろうか。本会原点に戻り、環境保全活動を。また地域に住む自分自身も反省しなければならないと思いました。



(右上と同・広瀬橋)



＜予定＞ (3～5月)

- | | | |
|----------|--------|-----------------------|
| 3月10日(土) | 午前10時～ | 広瀬橋地区清掃(長靴、ヒバサミ、軍手持参) |
| 4月14日(土) | 同 上 | (今年も第2土曜日実施) |
| 5月12日(土) | 同 上 | 広瀬橋地区清掃(長靴、ヒバサミ、軍手持参) |

その他 4月 7日(土) から「第7回からかたくり祭」(大国神社山の野草を守る会・横尾会員)



旧4号線(奥州街道)の広瀬橋



左写真拡大・上流が県管理の標識



清掃活動の場所(以上撮影 3/05)

NPO法人広瀬川の清流を守る会

☎022-247-6522 ☎290-3205 ✉info@hirosegawa.com URL www.hirosegawa.com

〒982-0011 仙台市太白区長町1丁目2-16-201(昭和宅建内)